

心豊かでたくましい児童生徒を育む

小中一貫教育をめざして

シリーズ えでゆれば

vol.34

これからの小中一貫教育

新しい体育館

小中一貫三戸学園三戸中学校の体育館建設工事が進んでいます。体育館には武道場が併設され、バスケット

トボールコート2面の広さのアリーナ、ステージ、放送室、トイレ、更衣室、教官室、器具庫などの設備のほか、外部からの玄関が備え付けられています。(写真1・2)

子どもたちの声

また、アリーナの2階には、冬期間の部活動や卓球の練習、各種大会時には観覧場所として使用できるギャラリーが整備されました(施設の詳細と平面図は8月号に掲載)。
3月10日には、施設一体型の小中一貫校として初めての卒業式(9年生)が、この新しい体育館で行われる予定です。

この1年間、同じ場所で学んできた小中学生は、どのように感じているのでしょうか。

学校では、よりよい教育活動を行うため、子どもや保護者を対象にアンケート調査を行っています。このアンケートの集計結果から、小中学生の学校生活について満足している面や、学習面・行動面・心身の調和の面で良い評価を得ていることがわかりました。

個別の声を聞いてみると、「初等部の高学年として、1年生にお手本を見せられてよかった(4年生)」

「中学生と一緒に活動して楽しい。掃除の時、班長がみんなをピシッと整列させています。班長は、僕の憧



写真1 体育館全景(2月19日時点)



写真2 体育館外観工事のようす(2月19日時点)



写真4 三戸小中フェスティバルでの合同演奏



写真3 1~9年生の縦割り清掃



写真5 小学校の先生が7年生に乗り入れ指導

れです（5年生）
 「委員会や体育祭などをとおして、中学生が小学生に気を配って活動してくれていることが分かってうれしく思った（6年生）」
 「中学校の先生方と勉強してみても、一年早く先生方の教え方に慣れたら、中学校生活についてのアドバイスを受けたりすることができた（6年生）」



写真6 合同体育祭での一コマ

し、小学生から元気をもらうことができた（8年生）」
 「体育祭では、1年生から9年生までいるので、指示の通りやすさや理解する力がばらばらで、みんなをまとめるのはとても大変だったけれど、優勝という結果がついてきて、みんな一つになれたのではないかと思います（9年生）」

上級生に対する憧れの心が育まれていくようです。

保護者の評価と意見

同じアンケート結果から、保護者からも学習面・行動面・心身の調和の面で高い評価を得ていることが分かりました。

また、小中学生が異年齢交流を楽しみにしているようすや、中学生が行事で小学生を支えようとしているようす（写真6）などについて、好意的なご意見が寄せられました。

一方で、「行事の中で一人一人の活躍の場が少なくなった」「通学の安全面・緊急時の連絡体制」など、規模が大きくなったことによる改善を求める貴重なご意見も見られました。

良い面はよりよく、改善が必要な点は関係機関と調整しながら、子どもたちにとって最善の方法を探り、対応してまいります。

連載終了のお知らせ

本コーナーは、児童・生徒の保護者だけでなく多くの地域の皆さまに對し、小中一貫教育のねらいや具体

的な取り組みを通じた効果、学校建設の進捗よく状況などをお知らせするために連載してまいりました。

4月に三戸小学校・斗川小学校・三戸中学校で構成する「小中一貫三戸学園」が開校し、三戸町の義務教育は杉沢小中学校とあわせて二つの小中一貫校で行われています。

本格的な小中一貫教育が始まり1年が経過することから、本連載は今月号をもって終了いたします。

3年間、34号にわたりご愛読いただき、誠にありがとうございました。今後は、また別な形で学校生活のようすや、子どもたちの生き生きとした表情をお伝えしていきます。

終わりに

三戸町の教育をよりよいものにするためには、学校と教育委員会がビジョンを持って取り組むだけでなく、家庭や地域との連絡を密にし、学校を中心とした地域コミュニティについて考えていく必要があります。地域に開かれ、地域とともに成長し続ける学校となるよう、今後とも皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。